

2022年度（令和4年度）

仙台理容美容専門学校
学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

日 時 令和5年6月12日（月） 10：00～12：00

場 所 仙台理容美容専門学校 1階 応接室

出席者 学校関係者評価委員

1. 目々澤 利 裕 （後援会会長）
2. 遠 藤 重 彦 （同窓会会長）
3. 中 村 正 夫 （理容室経営）
4. 和 田 美智子 （美容室役員）

本校教職員

1. 中 釜 志保美 （副校長）
2. 天 野 成 敏 （事務長）
3. 佐々木 里 江 （教務主任）
4. 小野寺 貴 史 （広報主任）

総 評 （令和4年度）

（1）教育理念・目的・人材育成像

- ・学校の教育理念、目的、人材育成像は、仙台理容美容専門学校の歴史が示す通り、業界からも一番の評価を得ているところであるので、今後も学生・保護者への周知徹底を願う。

（2）学校運営

- ・教務と事務との連携、及び理容科・美容科相互の情報共有等がなされている。
- ・校務分掌に従って職務が遂行され、職員相互の連携がとれている。

（3）教育活動

- ・業界との連携（情報交換）を密に行い、今後の業界の流れを把握しながら、教育の現場にいかにか落とし込んでいくかが重要。
- ・新型コロナ感染症下の中で、職員に関連する研修も実施され受講できたことは良かった。
- ・理・美容師資格試験については、昨年に続き全員合格とはならなかったのは残念だったが、高い合格率を維持できたことは評価できる。

（4）学修成果

- ・就職率、資格取得率共に良好であるが、理・美容師資格試験については、惜しくも昨年に続き全員合格とはならなかったが、高い合格率を維持できたことは良かった。

（5）学生支援

- ・昨年に引き続き、就職支援の一環として、就職ガイダンス（宮城県内・東京関東方面）の実施は、学生にとって大変有意義だったと思われる。
- ・課外活動に対する支援や学校独自の奨学制度等の支援活動は十分行われている。

(6) 教育環境

- ・設備・機材については、計画的に点検やメンテナンスをして丁寧に使っている。
- ・校内施設の環境維持のための年次計画については、計画通り実行されている。
- ・令和4年度も国内研修は新型コロナの影響で中止となったが、それに代わる代替として理容・美容業界で活躍している方の講演や観光を兼ねた1日研修を実施できたことは、学生にとって大変有意義だった。

(7) 学生の受け入れ募集

- ・少子化や新型コロナウイルス感染症の影響で進学ガイダンスやオープンキャンパス参加者等が減少しているため学生募集に苦慮されているが、独自の奨学金制度を設けたことで、昨年度並みの入学者が確保できている。

(8) 財務

- ・今年度も入学者が増えて良かったが、少子化は変わらないため、今後も力を入れて学生募集活動をするのが大事。
- ・運営資金の効率のいい運用の仕方と支出については物価の高騰も大きいいため、極力支出を抑える努力が随所に必要。

(9) 法令等の遵守

- ・法令等の遵守の徹底、個人情報保護と漏えい防止対策がとられている。
- ・前年度の問題点について、改善の努力が見られた。
- ・自己評価の公開がされている。

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・新型コロナウイルスの影響により前年度に引き続き、地域関連の行事や高齢者施設のボランティア活動が実施できなかったことは残念だったが今後も継続してもらいたい。
- ・学生による地域の清掃活動は、今後も継続して実施してもらいたい。